

道路交通アセスメント検討会について

我が国では、道路移動時間の約4割が渋滞で損失しており、人口減少時代を迎えている中、その生産性を向上していくためには、効率的な渋滞対策を推進していくことが必要である。

本検討会は、渋滞を生じさせる大きな要因となっている道路周辺の土地利用や路上工事に対して、効果的な道路交通アセスメントやそれに基づく対策等を講じていくための方策について検討することを目的に設立するものである。

座長	森本 章倫	早稲田大学理工学術院 教授
委員	赤羽 弘和	千葉工業大学工学部建築都市環境学科 教授
	板谷 和也	流通経済大学経済学部 准教授
	長田 哲平	宇都宮大学大学院工学研究科 助教
	久保田 尚	埼玉大学工学部建設工学科 教授
	土井 健司	大阪大学工学研究科 教授
	吉田 長裕	大阪市立大学工学研究科 准教授

(委員は50音順)

開催予定	主な議題
平成28年3月17日 <第1回>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道路周辺の土地利用及び路上工事に関する現状と課題 ・ 国内外の道路交通アセスメント等の制度について
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 渋滞に関するデータ分析について ・ 対策エリア、施設、影響範囲等について ・ モニタリング手法について ・ 対策メニューについて ・ 今後の制度について
平成28年夏頃	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中間とりまとめ(今後の道路交通アセスメント等の方向性について)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道路交通アセスメント制度等の具体化について